

久野瀬 NHK水戸ビデオクラブ会員  
小林孝尚さん(八十代)

### あつという間に水が

あそこ見てもらえるとわかりますけど赤い線あるでしょ。そこまで水が来たんです。うちの中心も床上一・五メートル。明るいうちでしたけどね、徐々に水が入ってきたんですよ。大したことないと思って家にいたんですけど、そのうちに段々増えてきて、結局は外に避難する余裕がなくなりました。それで、しようがないので自宅の押入れの上に天袋っていう空間があるよね。そこに一晩避難して。水が引くまで四時間ぐらいかかったかな。次の日の朝までその天袋にいましたね。今まで水が庭まで入ったのが四回ぐらいありました。今までは、ここまでは初めて。向こうの竹やぶまでこの辺一带が水没したんだからちよつと想像つかないでしょ。もう水が始めると早い。家の周辺にあるものが全て流されて、川の方へ全部行っちゃいます。早かった。高いところへ登るしかないです。過去の経験でせいぜい床下ぐらいで済むんだらうって。だけど見る間に、早いですね水の出るのが。



水位を示す赤い線

### 大きな損害

家の中にある冷蔵庫とか重い家財道具もすべて倒れちゃって水に浮いちゃって。だから全部使えなくなっちゃって捨てましたよね。車もハンドルの上まで入っちゃったんで駄目。泥の撤去には三日、四日かかりましたね。三〇〇万円前後はかかりました。車が三台駄目になりました。あとはこの床板全部剥がして、床下に泥がたまっちゃいますよね。それ全部取っちゃって床板張り直しますね。あとこの建具が全部駄目で。それを新しくして。あとは部屋の中にあつた家財道具は全て処分しました。

### ボランティアに助けられた

ボランティアの方が手伝いに来たんですよ。それはだいぶ助かりました。若い人ですね。若いと力ありますよね。次の日ぐらいから来ましたね。一応町の方で募集したっていうか管理してて、あ

ちこち水があつたところに割り振って派遣するような感じかな。あとは近所の人も結構来ましたけどね。あとは差し入れとか結構ありまして、食べ物ね。ボランティアがうちに来たのは一週間ぐらいかな。一日いるわけじゃなくて午前とか午後とか分担して。大体一日あたり七、八人は来ましたね。あとはトラックはよそこに捨てるものを積んで大子で集積場あるんですよ。被災したゴミを集めるところね。そこへ運んだりそういう仕事をしてくれましたね。だからいろんなやることを終えて落ち着くのによつぱり一年くらいはかかりました。一番大変なのこの床下の泥ね。それ取らないとよつぱり環境に悪いんでそれを全部取って、あと町の方で配布した石灰ってあるでしょ。あれを床下に全部まいた。消毒の意味もあるのかな。

### 川が増水すると水害を思い出す

そこに橋あるでしょ。あれがしよつちゅう水没します、最近。今年になって三回ぐらい水没しましたよ。これは橋にゴミが直接当たらないように。ゴミをここで止めるわけね。結構丈夫なんです。水が出て上を流れちゃうでしょ。この橋はテレビのドラマの撮影でしよつちゅう出ますよ。あと映画で「桜田門外の変」っていう映画があつたんですよ。あれはここで撮影しました。

あとシガってわかる？冬になると凍った氷が

地面に流れる現象。あれはここが一番流れるところ。ちよど条件がいいんですよ。日本でも二ヶ所ぐらいしかそれが見られない。そのうちの一つだから。

今回の台風の後、ようやくいろんな対策を考えて。今度は堤防ができるんですよ。それで、水が入らないようにするんで、橋の上一・七メートルの擁壁を工事するんです。二年後には完成。予定がね。もう安心だと思っんですけどね、でもわからないね。

三年経って、水害のことはほとんどは忘れてますね。ただ雨が降って川が結構増水するんです最近。そうするとちよどと考えます、やっぱりね。



久野瀬橋（斜めの柱がゴミ受け）